

size A4

マゼンダ点線 = 折線

市政報告 vol.1

枚方市議会議員

大津まさき 27歳

まっさきに!  
ミライをつくる!

**ご挨拶** 枚方生まれ枚方育ちの大津まさきです。5月1日より枚方市議会議員として議場に臨んでおります。いまを生きる市民の課題を解決し、ミライを生きる子どもたちがより豊かな枚方で生活できるように、若者らしく新人らしく自由闊達、正々堂々と仕事をさせていただきます。



プロフィール

現在

枚方市議会議員  
市民福祉委員  
枚方寝屋川消防組合議会議員  
枚方京田辺環境施設組合議会議員  
枚方市消防団津田分団団員

経歴

津田中学校  
東海大仰星高校  
立命館大学  
衆議院議員秘書

SNSアカウント



令和5年5月議会

令和5年度大阪府枚方市一般会計補正予算  
本補正予算は国の物価高克服に向けた追加策等を踏まえ、具体的な支援策について補正を行っています。



内訳	
省エネ家電買い替え促進事業費	2億6484万8千円
住民税均等割のみ課税世帯への給付金給付事業費	1億237万6千円
私立保育園・幼稚園等に対する副食費支援事業費	634万9千円
水道料金の基本料金等の減免	6億3800万円
小規模事業者支援金給付事業費	6億8000万円
予備費	21億円

**意見** コロナ下において、多額の税金が投入されました。多くの方が生活苦に苛まれる中での各種補助金について一定理解しつつも、市民から徴収した税金をそのままらまいてはあまり効果的ではないように思います。コロナ対策を検証し、今後はより長期的に市民の生活を豊かにする施策とは何か考えていかなければなりません。

## 一般質問(趣旨)

### 1 DXを活かして行かなくてもよい市役所の実現を!

本庁に行かなくとも複数の業務が手続き可能なワンストップ窓口を津田支所等、各支所に取り入れ、誰も取り残さないデジタル化を目指していただきたい。またオンライン手続きの拡充により、行かなくてもよい市役所を実現しなければならない。例えば、出生届などは産後間もない状況で本人が提出しなければならない事もある。早急に取り組んでいただくよう強く要望する。

### 2 居場所・見守り機能として子ども食堂を活かす!

私自身、地域の方々子ども食堂を実施しているが、子どもにとって居場所・大人との繋がりを生む場所、また地域の方にとっても幅広い世代の繋がりを生み出す場所と捉えている。枚方市は子どもや家庭に対して重層的な支援体制を築いていく方針を打ち出しているの、まずは小学校区ごとの食堂実施を目指して引き続き取り組んでいただきたい。



### 3 ネット投票も含めた政治参加促進を!

若年層の投票率低下が課題とされている中で、様々な努力がされていることは理解している。私自身、母校での出前授業など政治と若者が関わりを持てるよう努力しているが、ネット投票等、大きな制度改革が必要と感じる。直近の国会でもネット投票法案が提出された。いずれ本格導入に向かう展開を視野に入れ、先行実施を目指す等、市として準備をしていただきたい。つくば市においては、2024年10月の実用に向けて準備を進めている。

### 4 道路渋滞緩和で 利便性と防災力をアップデート

道路渋滞については議員になる前から、多くのご意見を頂いた。都市計画道路長尾杉線・牧野長尾線については津田山手・津田北町3・杉1・長尾台3交差点や長尾駅前付近の渋滞解消等、未だ事業用地を取得できていない箇所もあるが、東部地域の発展に必要な道路だと感じている。また枚方市全体の防災機能の強化に大きく貢献するため、可能な限り早期の供用開始に向けて取り組んでいただきたい。



### 5 スポーツのまち枚方をつくる!

市民や各種団体によるグラウンド等施設利用の状況、また見るスポーツの推進、さらなるスポーツ振興の観点からも、グラウンドや運動施設が不足していると言わざるを得ない。枚方市には、プロスポーツから学生スポーツ、アマチュアスポーツにおいて、素晴らしい活躍をみせるクラブが数多くある。枚方市にとってのスポーツがどのような役割を果たしているのか今一度熟考し前向きに検討していただきたい。



### 6 子どもの自由な遊びを応援!

令和5年度から放課後オープンスクエアが実施されている。私自身、令和3年度から先行実施されていた放課後子ども教室(津田小学校)にスタッフとして勤めていた。子どもたちの主体性を尊重し自由な発想で遊べる場所を提供することが本事業の趣旨と思うが、現場は慢性的な人手不足が続いている。これでは見守りも行っても、スタッフの目が行き届かず、あくまで個人的な感覚ではあるが、一定子どもたちの行動を制限せざるを得ない。事業は始まったところなので、一つ一つ課題をクリアし、本事業の趣旨に則った取り組みになるよう力を尽くしていただきたい。